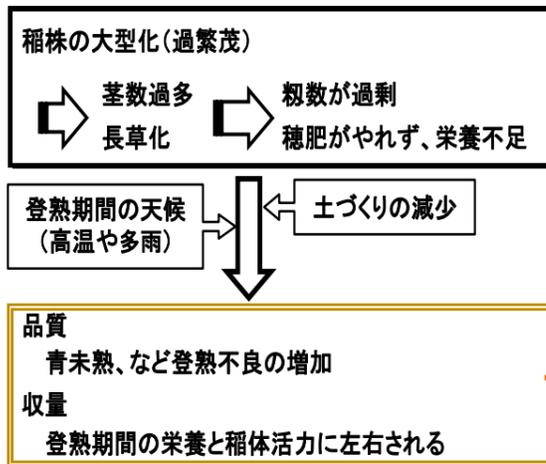


柏崎地域 コシヒカリ栽培ごよみ

コシヒカリの品質、収量目標

1等米比率	95%以上
整粒歩合	80%
玄米タンパク	6%以下
目標収量	530kg/10a
穂数	350本/m ²
1穂粒数	76粒
m ² 当り粒数	26,500粒
登熟歩合	90%
千粒重	22.0g

現状は…



対策1 穂肥のやれる稲すがた

5月10日以降の田植え

①健苗育成
・適期播種、徒長防止、べんとう肥

②基肥の適正量使用
・地力または栽培期間を考慮し、調整

田植え1ヶ月後には中干し
・分げつを抑制しコンパクトな稲株にする
・コンバインが入れる地耐力をつける

対策2 登熟後期の栄養保持

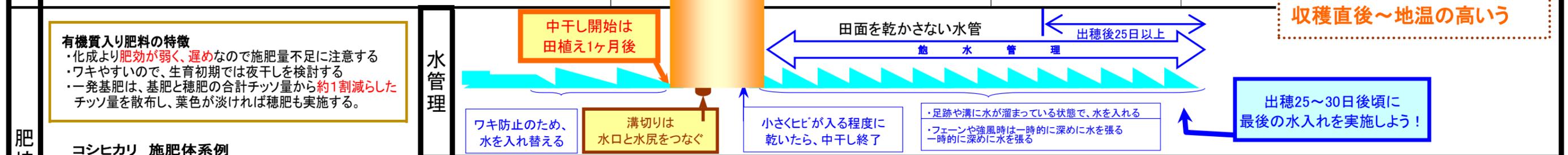
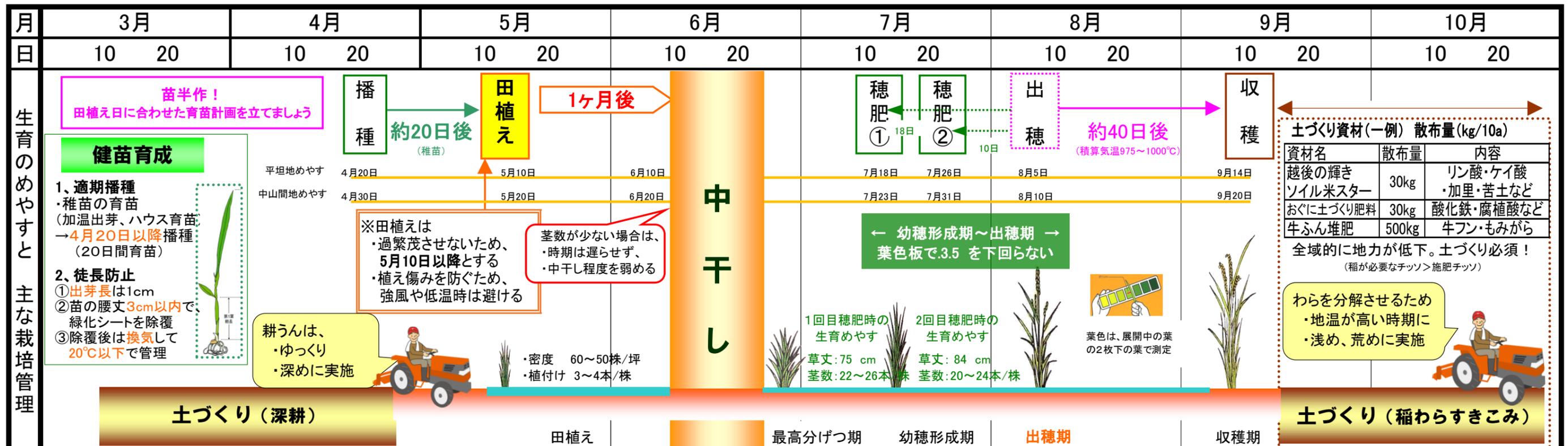
穂肥の確実な実施
①②回目の穂肥は確実に実施
・登熟に必要な養分を確保する
・高温予想時は積極的に施用する

基肥1発肥料の穂肥対応
・葉色と天候に応じ、2回目の穂肥時期での施用を検討する

対策3 積極的な土づくり

秋の稲わらすきこみ
・秋の早いうちに実施しワキを減らす
・浅めで荒うちする事で分解を促進
・堆肥やモミ殻(ケイ酸)を併用する

春の耕うん
・ていねいな耕うん作業で、数年かけて徐々に深耕する(目標15cm)



肥培管理

コシヒカリ 施肥体系例

	資材名	使用量のめやす	総チッソ量/10a (うち、化学チッソ量)	備考
育苗	ホーネンス培土1号	2.8kg/箱	0.013kg(0.013kg)	
	べんとう肥	15g/箱	0.02kg(0.02kg)	
基肥	越後の輝き有機50基肥		3.0kg	越後の輝き有機50スーパー元肥の場合 は30~40kg
	総窒素量10% うち、化学窒素量4.9%	30kg/10a	(1.47kg)	
穂肥	越後の輝き有機50穂肥		2.4kg	化学チッソ量に制限のある栽培では、 有機質100%肥料を使用する
	総窒素量12% うち、化学窒素量5.7%	20kg/10a	(1.14kg)	

穂肥の診断とめやす

- 散布量 : 合計チッソ量で 2.0~2.5kg/10a
- 1回目穂肥 : 出穂18日前(幼穂の長さが1cmの頃)に散布
実施めやすより生育が大きい場合は控えめにする
- 2回目穂肥 : 出穂10日前に散布
登熟期間の栄養確保のため、必ず実施する
(長草、濃い葉色、8月の低温予想時などは量を減らす)